

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月19日(土)⑤

担当部局・担当課名: 交通政策局交通戦略企画課

事業名	公共交通活性化総合対策事業	評価結果	一部改善
-----	---------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・公共交通は非常に重要で、利用率を高めることも重要。一方で、県民1人当たりの公共交通の利用回数のみが指標で良いのかどうか等について、見直しが必要ではないか。
- ・地方の公共交通は存続の危機に立たされている。現状や課題等について情報公開の拡充が必要。
- ・やってみないと分からないが、このままだと公共交通がなくなってしまうというキャンペーンをするという考え方もある。
- ・ガソリンが高くなっている中、自家用車より公共交通を使った方が安くなるというアピールもやってほしい。

【県民評価者の意見】

- ・日常使いの利用者の増加のためには、乗りやすい、乗りたいと思ってもらえる施策が必要。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数

20

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	1	2	11	6
県民評価者の 主なコメント	【一部改善】 ・成果が出ていることがわかるので、今後も継続していくと良い。ただ、過疎地等ではもっと拡大できるようにしてほしい。 ・赤字路線だから事業を見直しとするのは短絡的。あくまでも公共交通の維持は必要。高齢者、障害者等に重きを置いて利便性を高めてほしい。 ・高齢者の免許返納等もあるため、山間地や過疎地域への接続の拡充等が必要。 ・日常使いの利用者増加を目指すのであれば、運行本数・車両数を考えるべき。				
	【役割分担見直し】 ・市町村が実施。(高齢者の免許返納が増えてくるので、コミュニティバスが必要) 【事業全体の抜本的改善】 ・一時的な利用者増を目指すのではなく、持続可能なビジネスモデルを検討するべき。 【現行どおり・拡充】 ・事業費を拡充するべき。 ・乗車する人が少ないのは、便数や運行時間に難があるのではないか。 ・利用者にあわせたダイヤ編成となるよう働きかけてほしい。 ・山間部にも公共交通を普及させてほしい。公共交通は昔に比べて便利になり、魅力も増えた。高齢者が中心部に移住する動きが起これば、他の事業の予算削減にもつながるため、このまま続けてほしい。				

【参考】委員による評価

委員総数

4

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	0	2	2